令和５年２月２０日

校長先生のお話

マスクとつばめ教室

小さな声で朝のあいさつをしましょう。「おはようございます。」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大も収まってきました。５月にはインフルエンザと同じ種類の感染症として扱われることになります。今日はマスクの話をしたいと思います。マスクは外や広い場所にいる時は外していいです。登下校、体育の時間、中休みや昼休みに校庭や体育館で遊ぶ場合などです。教室の中では、グループ活動など近くで話をする時は、まだしていた方がいいと思います。でも、テストや図書の時間など、あまり話をしない時は外して構いません。給食時間ですが、準備をしている時や食べ終わった後は、マスクをして話してもいいと思いますが、マスクを外して食べている時は話をせず、もう少しの間、黙って食べましょう。６年生は卒業式があります。卒業式は声を出す場面が少ないので、外してもいいです。特に証書授与の場面は写真を撮るので、マスクを外した方がいいと思います。門出の言葉と歌の時については、今後の状況をみて付けるか外してもいいか考えます。

体育館の下に新しい教室が三つできました、ここの一つに「つばめ教室」をつくります。つばめ教室は、クラスの教室に入りにくい時に使える教室です。たまに、保健室で勉強していたり、廊下に立っていたりする人を見かけます。そういう時に利用してください。つばめ教室では、クラスの教室のように勉強は教えません。オンライン学習やタブレット、ドリル、読書など自分の勉強をします。でも、教室には見守りの先生がいます。タブレットのことで困ったり、問題で分からないところがあったりしたら、教えてくれるので安心してください。３月１日から始めてみます。時間は１時間目から４時間目までです。前もって H&S などで利用する時間を知らせてほしいのですが、急に行っても大丈夫です。行きたくなったら行って、戻りたくなったら戻ってください。担任の先生や見守りの先生に言えば、出入り自由です。幡代小の子が全員、クラスの教室で安心して学習できるようになってほしいと思います。教室に入りづらい人が教室に一歩でも近づくことができるように「つばめ教室」を作りました。なぜ「つばめ教室」という名前にしたかというと、つばめは益鳥ですし、寒い冬を日本で過ごし、暖かくなると南の国に戻っていく鳥だからです。ヤクルトスワローズを応援しているから付けた訳ではありません。(それも理由の一つですが)

コロナの感染は収まってきましたが、インフルエンザが猛威をふるっています。学年末の大事な時期になります。感染対策をしっかりして、今週も元気に過ごしましょう。